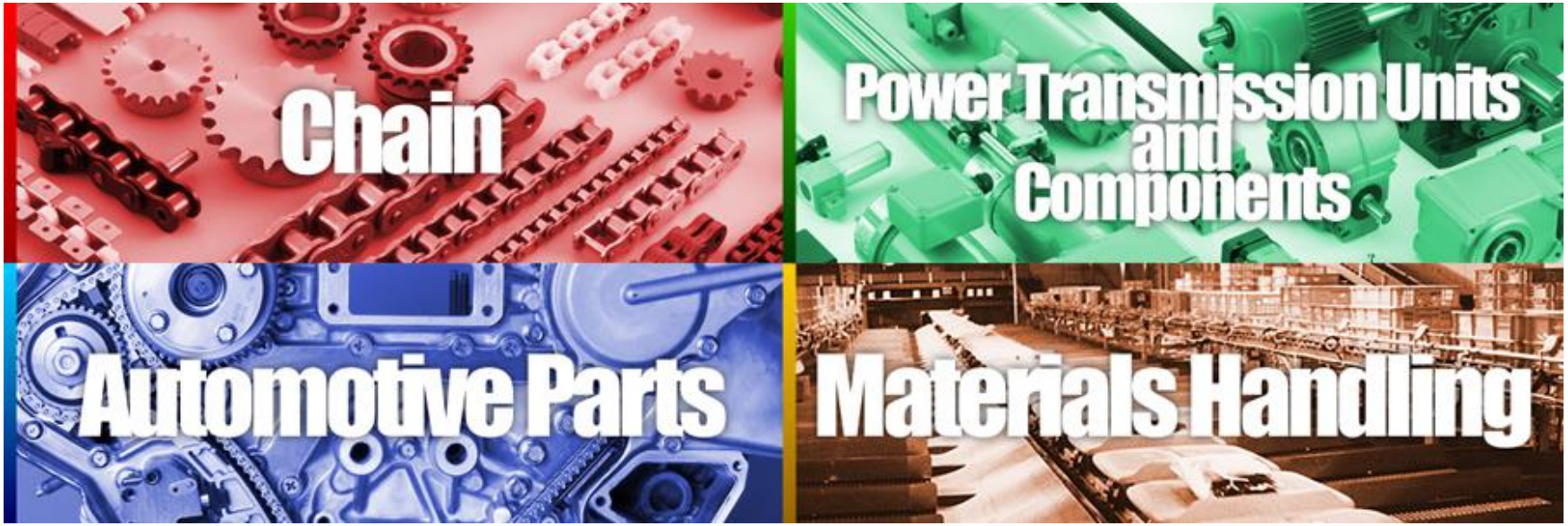
Innovation in Motion
TSUBAKI

株式会社椿本チエイン
2015年3月期 決算説明会



2015年5月18日

2015年3月期 連結業績報告

注）本資料で表記する「通期」は、当該連結会計年度における
「4月1日～翌年3月31日」）を示します。
（海外子会社の一部は「1月1日～12月31日」）

1. 15年3月期レビュー 連結決算ハイライト

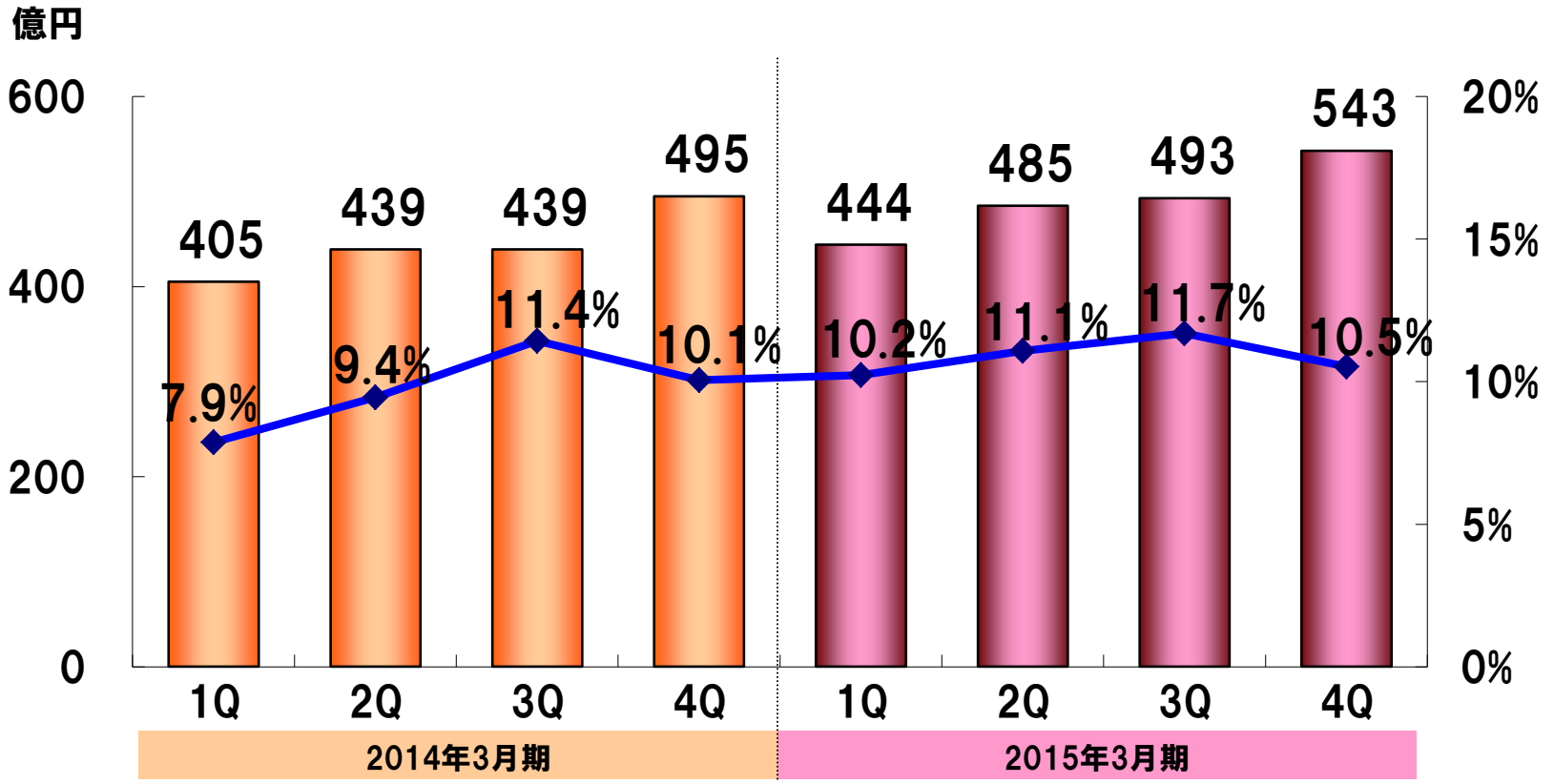
■ マテハン、チェーン、自動車部品の伸長などにより、過去最高の売上高、利益を達成。

（単位：百万円）

	2014年3月期	2015年3月期	前期比	'14.11.7修正予想比	
	通期実績	通期実績	増減率	予想値	増減率
売　上　高	178,022	196,738	10.5%	191,000	3.0%
営業利益	17,354	21,427	23.5%	19,700	8.8%
営業利益率	9.7%	10.9%		10.3%	
経常利益	17,993	22,263	23.7%	20,300	9.7%
当期純利益	10,213	14,153	38.6%	13,000	8.9%
1株当り当期純利益	54.58	75.65	―	51.30	―
（為替レート　1US$）	100.16	109.76	―	―	―
（為替レート　1EURO）	134.21	138.69	―	―	―
自己資本比率	51.8%	54.3%	自己資本/総資産		
自己資本利益率(ROE)	9.3%	10.9%	当期純利益/期中平均自己資本		
ネット D/E レシオ	0.13	0.07	（有利子負債-現預金）/自己資本		

2. 15年3月期レビュー 四半期毎連結業績の推移

売上高、営業利益率の推移（連結）

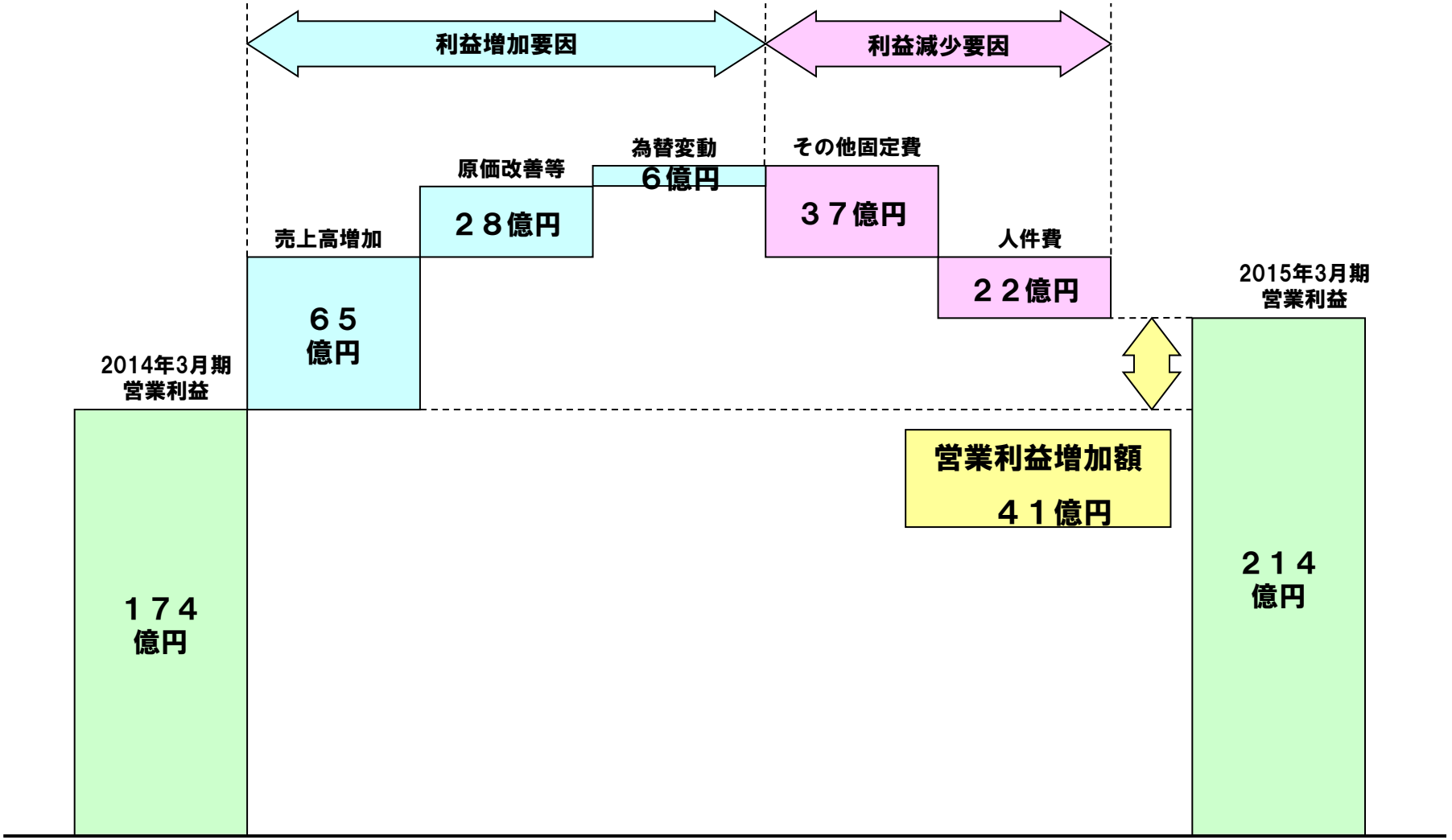


主な為替レート	2014年3月期	2015年3月期
US$	100.16円	109.76円
ユーロ	134.21円	138.69円

単位：億円 、 ：売上高 、 ：営業利益率

3. 15年3月期レビュー 連結営業利益増減要因分析

■ 2014年3月期実績 vs 2015年3月期実績



4. 15年3月期レビュー 事業セグメント別業績

■ マテハン、チェーン、自動車部品が好調。精機も堅調に推移し、全事業とも増収増益。

（単位：百万円）

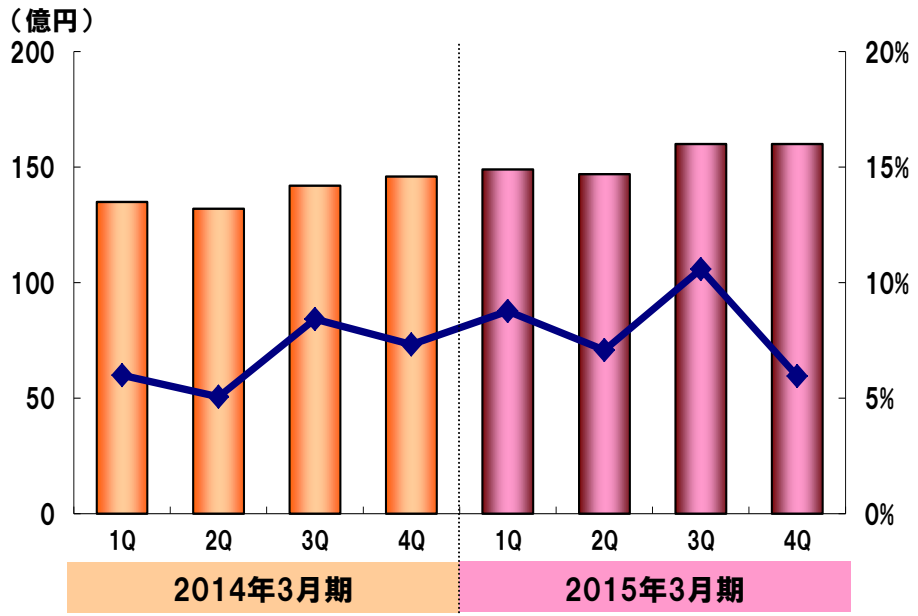
		2014年3月期	2015年3月期	前期比	'14.11.7修正予想比	
		通期実績	通期実績	増減率	予想値	増減率
チェーン	売上高※注1	55,828	61,721	10.6%	59,700	3.4%
	営業利益	3,763	5,002	32.9%	4,710	6.2%
	営業利益率	6.7%	8.1%		7.9%	
精 機	売上高※注1	21,612	22,557	4.4%	22,200	1.6%
	営業利益	2,273	2,400	5.6%	2,200	9.1%
	営業利益率	10.5%	10.6%		9.9%	
自動車部品	売上高※注1	60,674	66,978	10.4%	65,900	1.6%
	営業利益	10,119	11,916	17.8%	11,830	0.7%
	営業利益率	16.7%	17.8%		18.0%	
マテハン	売上高※注1	39,565	45,169	14.2%	43,300	4.3%
	営業利益	1,192	1,940	62.8%	1,130	71.7%
	営業利益率	3.0%	4.3%		2.6%	
その他※注2	売上高※注1	2,719	2,968	9.2%	3,000	▲ 1.1%
	営業利益	63	123	95.2%	40	207.5%
	営業利益率	2.3%	4.1%		1.3%	

※注1 ： 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。
※注2 ： 「その他」は、報告セグメントではありません。

5. 15年3月期レビュー 事業セグメント別業績推移

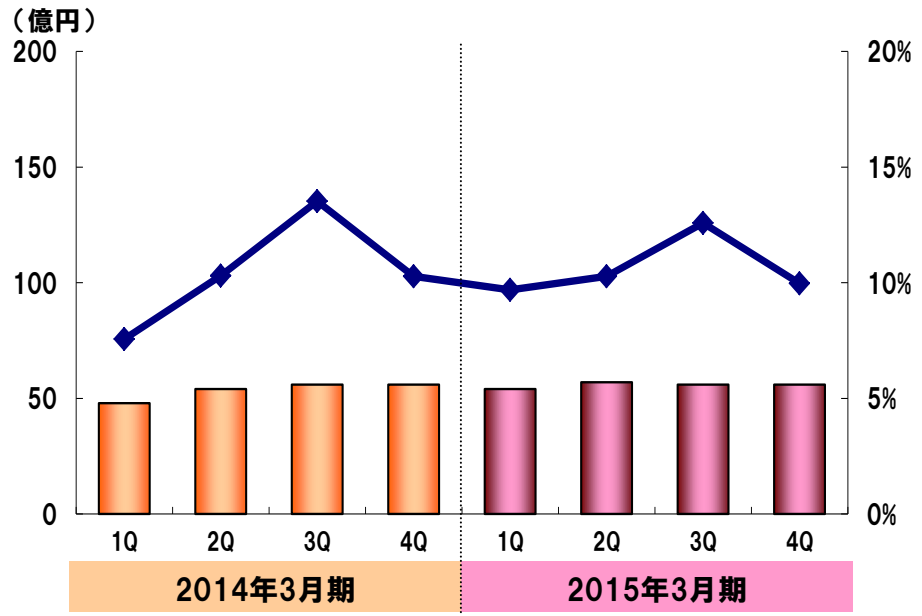
■ 売上高、営業利益率の推移

●チェーン事業



<日本> 下期の回復により、増収増益。
<米州、欧州> 堅調を維持。
円安効果もあり大幅な増収増益。
<韓国・台湾> 台湾が好調に推移。
<中国> 上海子会社の新規連結、天津工場の本格稼働等で増収も
費用増加等で収益性は悪化。

●精機事業



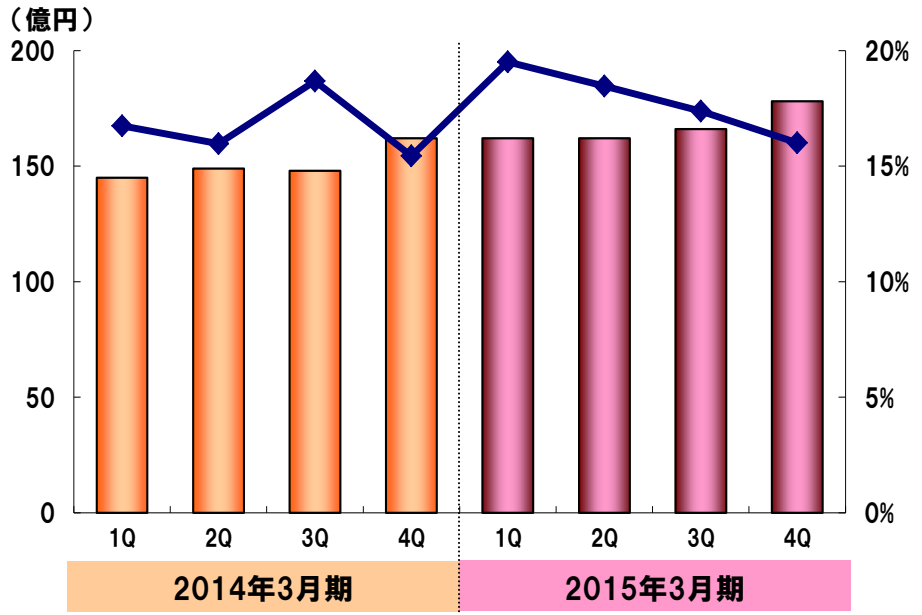
<日本> 総じて堅調に推移し、増収増益。
<米州、欧州> 堅調を維持。
<中国> 海子会社が好調に推移したが、
天津子会社の減速により減収減益。

単位：億円 、 ：売上高 、 ：営業利益率

5. 15年3月期レビュー 事業セグメント別業績推移

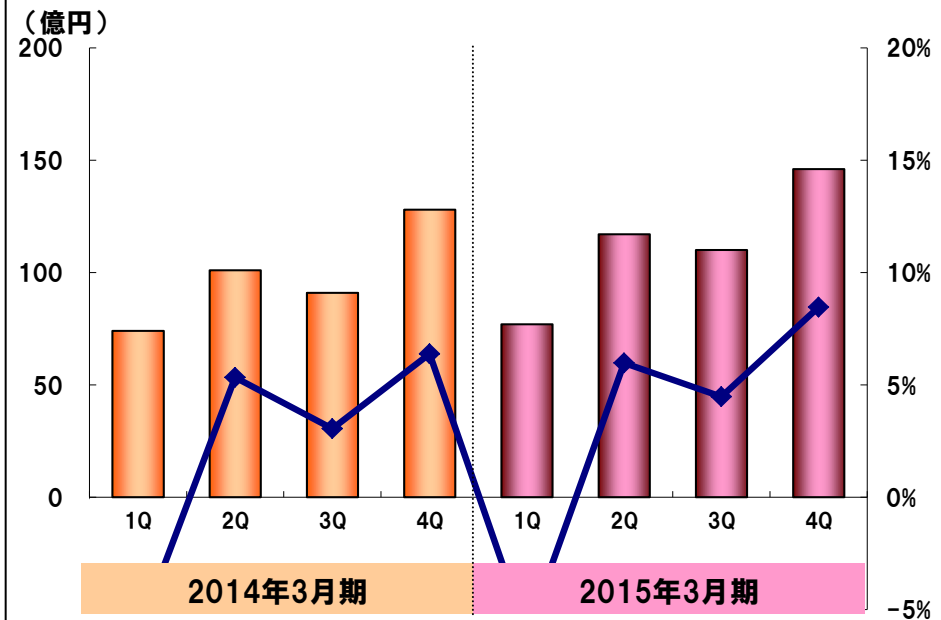
■ 売上高、営業利益率の推移

●自動車部品事業



<日本> 海外子会社への部品輸出好調などで増収、生産性改善などにより大幅増益。
<米国> 増収となったが、費用増加等で利益横ばい。
<英国> 増収増益。
<タイ・ 韓国> 費用増加等により増収ながら減益。
<中国> 日系車が苦戦するも、新規案件の寄与などにより増収増益。

●マテハン事業



<日本> 流通業界向け、創薬業界向けシステムの好調により大幅な増収増益。
<米州> 工作機械向けコンベヤの減少などにより減収減益。
<欧州> 工作機械向けコンベヤが好調に推移し増収増益。

単位：億円 、 ：売上高 、 ：営業利益率

6. 15年3月期レビュー 所在地別業績

■ マテハンの好調などにより、日本が利益伸長をけん引。

（単位：百万円）

		2014年3月期 通期実績	2015年3月期 通期実績	前期比 増減率
米　州	売上高※注	43,551	48,749	11.9%
	営業利益	3,964	4,162	5.0%
	営業利益率	9.1%	8.5%	
欧　州	売上高※注	22,056	26,545	20.4%
	営業利益	471	890	89.0%
	営業利益率	2.1%	3.4%	
環インド洋	売上高※注	9,741	10,718	10.0%
	営業利益	1,384	1,385	0.1%
	営業利益率	14.2%	12.9%	
中　国	売上高※注	11,044	14,062	27.3%
	営業利益	954	1,008	5.7%
	営業利益率	8.6%	7.2%	
韓国・台湾	売上高※注	5,011	7,115	42.0%
	営業利益	372	258	▲ 30.6%
	営業利益率	7.4%	3.7%	
日　本	売上高※注	110,585	119,349	7.9%
	営業利益	9,234	12,694	37.5%
	営業利益率	8.4%	10.6%	

※注 ： 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

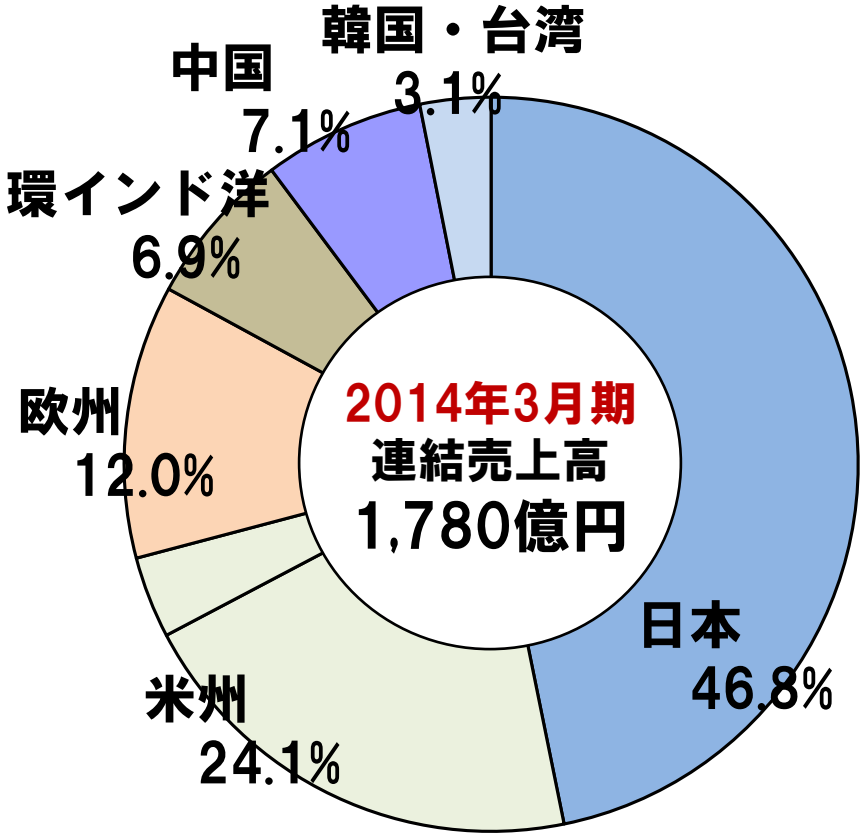
＜主な実績レート＞

'14/3 通期：US$＝¥100.16, EURO＝¥134.21, Can$＝¥95.14, A$＝¥93.45, THB＝¥3.18, NT$＝¥3.35, RMB＝¥15.92, WON＝¥0.09

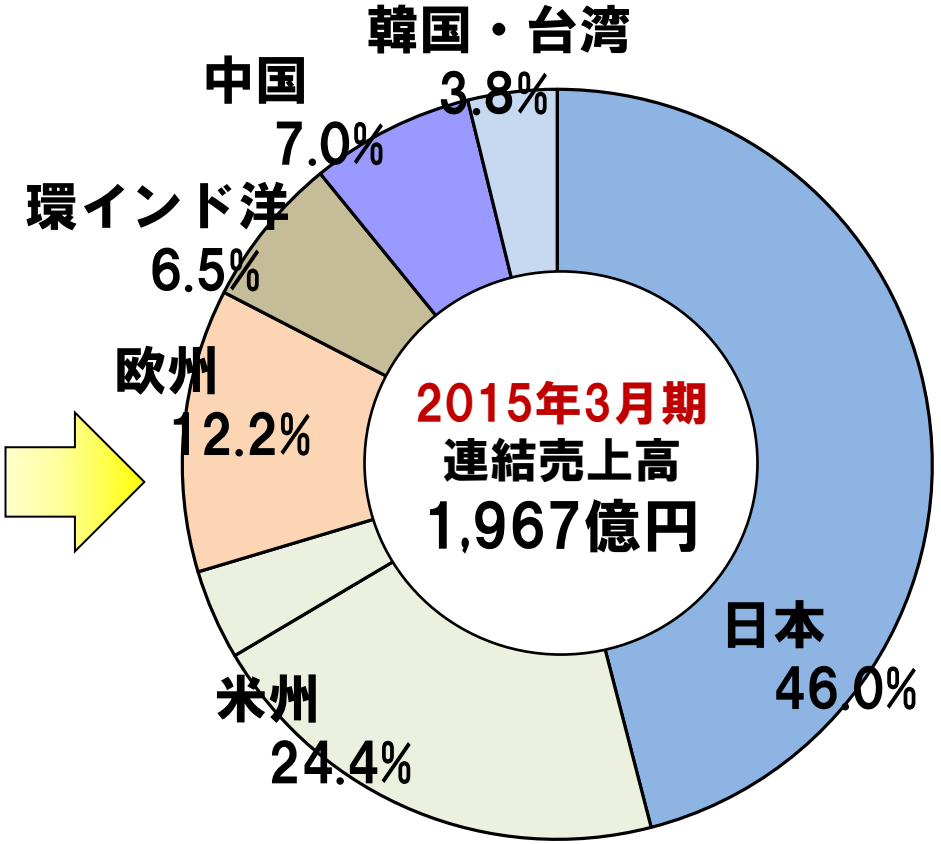
'15/3通期：US$＝¥109.76, EURO＝¥138.69, Can$＝¥96.42, A$＝¥95.75, THB＝¥3.26, NT$＝¥3.58, RMB＝¥17.17, WON＝¥0.10

7. 15年3月期レビュー 海外売上高比率

2014年3月期
海外売上高※比率：53.2%



2015年3月期
海外売上高※比率：54.0%



※注：売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

「中期経営計画2016」
進捗と課題

①あるべき姿＝グローバルトップ企業

ターゲット市場での確固たる地位の確立

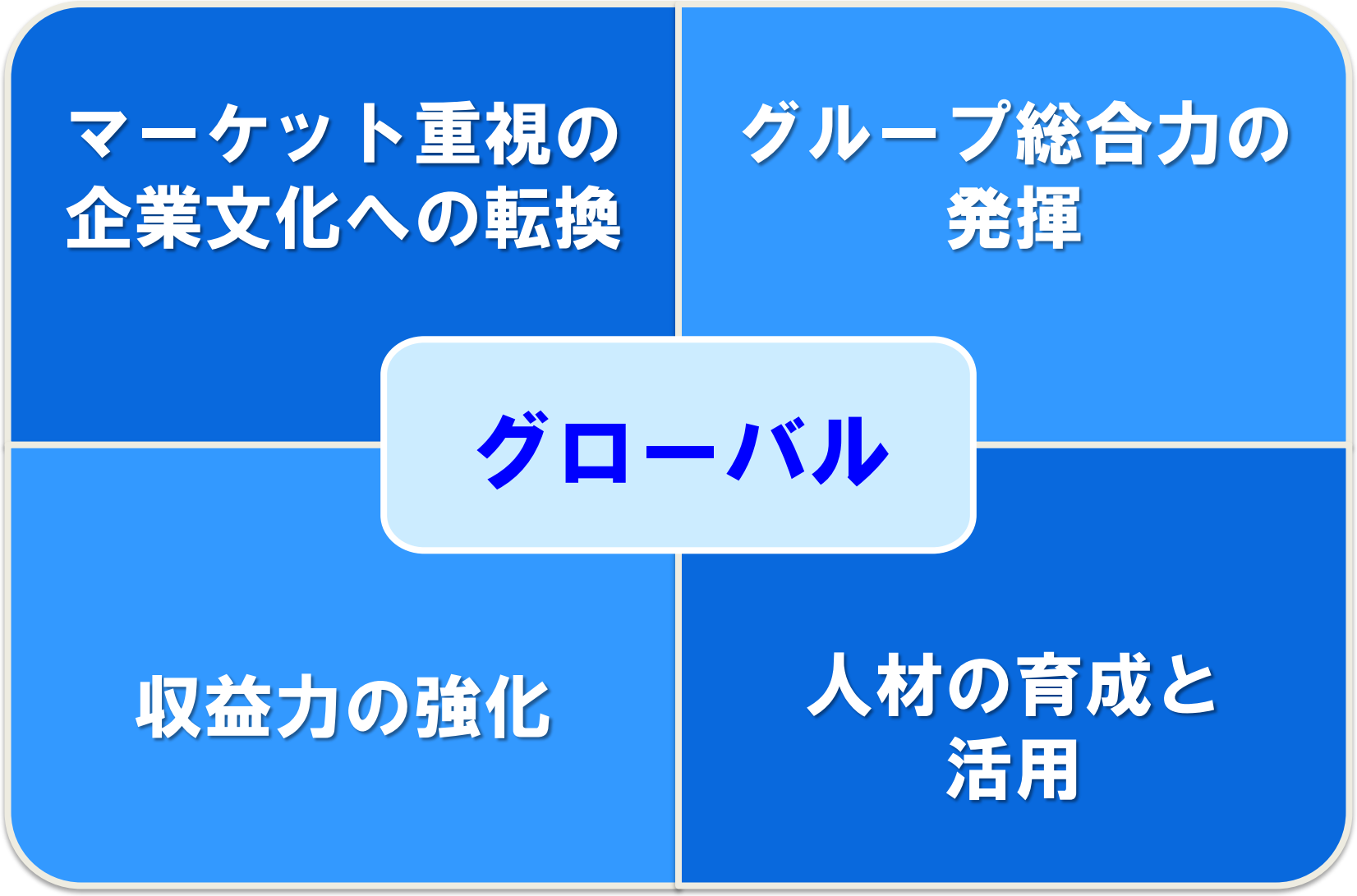
②数値目標

連結売上高 …… 3,000億円

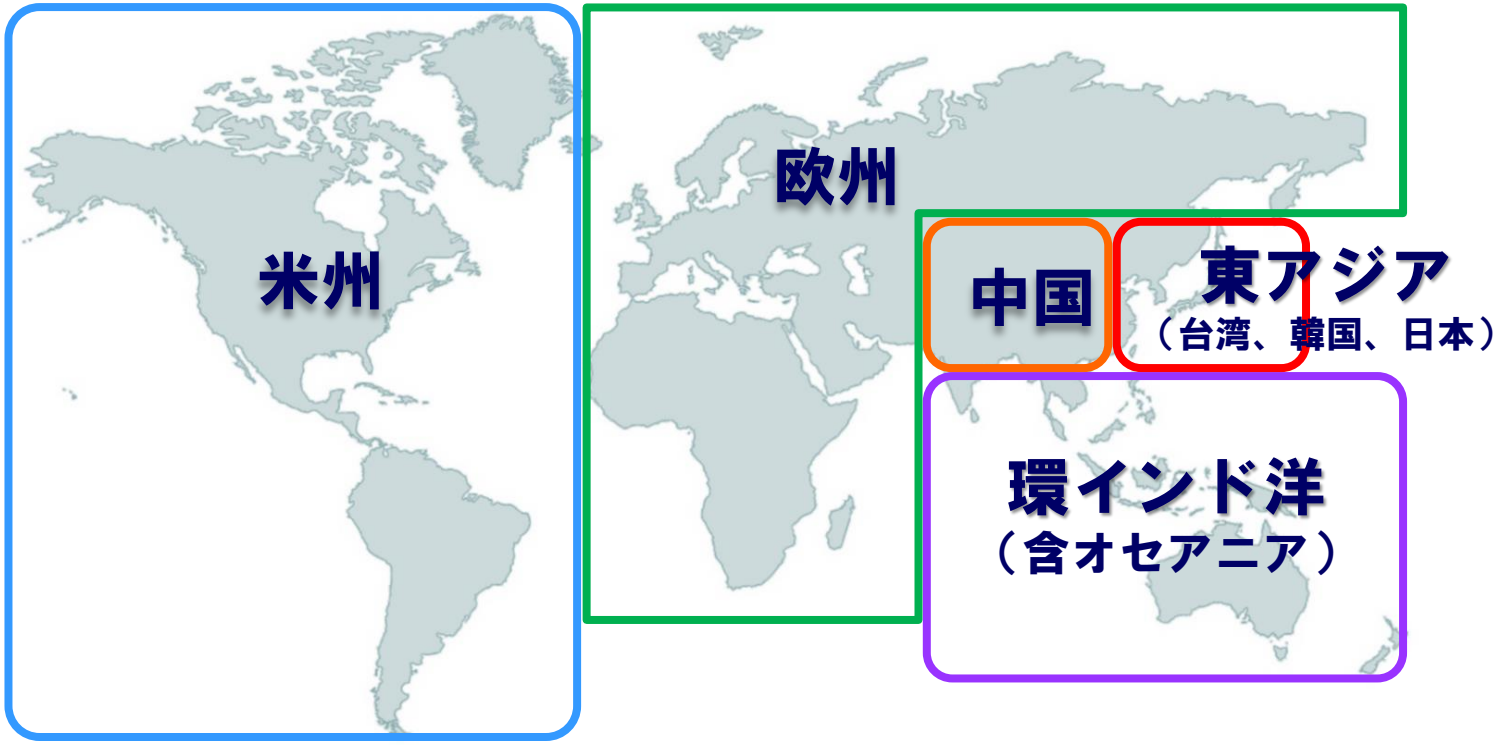
営業利益率 …… 10％

海外売上高比率 …. 70％

2. 「中期経営計画2016」基本方針



① マーケット重視の企業文化への転換



- 世界を５つの地域に分割
- 各市場ニーズに徹底対応した商品開発、モノづくり

② 海外拠点の拡充

欧州・チェーン製造拠点
チェーン商品の
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ競争力強化

Tsubaki Automotive Czech（チェコ）
自動車部品のｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ生産能力強化

Mahindra Tsubaki Conveyor Systems（インド）
マヒンドラのグローバルビジネス強化

椿凱動力伝輸機械（石家庄）（中国）
ｽﾌﾟﾛｹｯﾄのｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ競争力強化

椿本鏈条（天津）第二工場（中国）
自動車部品の
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ生産能力強化

韓国椿本（韓国）
東アジア地域での
ﾊﾟﾜﾄﾗ商品販売強化

※ 実践部は前期実績、
破線部は今期の課題

③ 収益力の強化

	テーマ	成　果
チェーン	京田辺工場生産改革活動 「MIK2018※」 <2018年度目標> 労働生産性30%UP 納期達成率100%等 ※ Manufacturing Innovation in Kyotanabe	① RS80ローラチェーン 革新ラインによるものづくり改革 ② スチールケーブルベヤ 一気通貫ライン構築と生産開始
自動車部品	ものづくり改革活動 <生産性向上目標（埼玉工場）> ① 新組立工場　30%UP ② 埼玉工場 計　15%UP	→ 新組立工場計　46%UP※ → 埼玉工場　計　28%UP※ ※ 12年3月期比の投入工数当たり出来高数量
マテハン	設計体質改革活動による 設計生産性の向上 （モジュラー・デザイン、 設計ダントツ等）	① 売上高設計費比率の改善 14/3期：11% ⇒ 15/3期：8% ② 設計１工数あたり売上高 14/3期：39万円 ⇒ 15/3期：63万円

6. 今期の課題 <チェーン・精機>

＜新商品＞

①次世代ローラチェーンの開発
- 「新形標準チェーン」の発売（耐摩耗性向上）
- 「強力形チェーン」の開発　（許容張力向上）

＜収益力の強化＞

①京田辺工場生産改革活動の継続実施
②サーボプレス導入による生産性向上
- リングコイン加工の高速化
- 工程省略による生産性向上

＜グローバル競争力の強化＞

①欧州製造拠点の確立
②精機事業（ツバキE&M）の国内工場再編

7. 今期の課題 <自動車部品>

＜新商品＞

①サイレントチェーンの性能強化
- (2014年度開発品比) 更なる低伸び/低フリクション商品の開発

＜グローバル生産能力強化＞

①椿本鏈条（天津）第2工場の稼働
②米国工場の生産増強
③欧州新工場（チェコ）建設着工

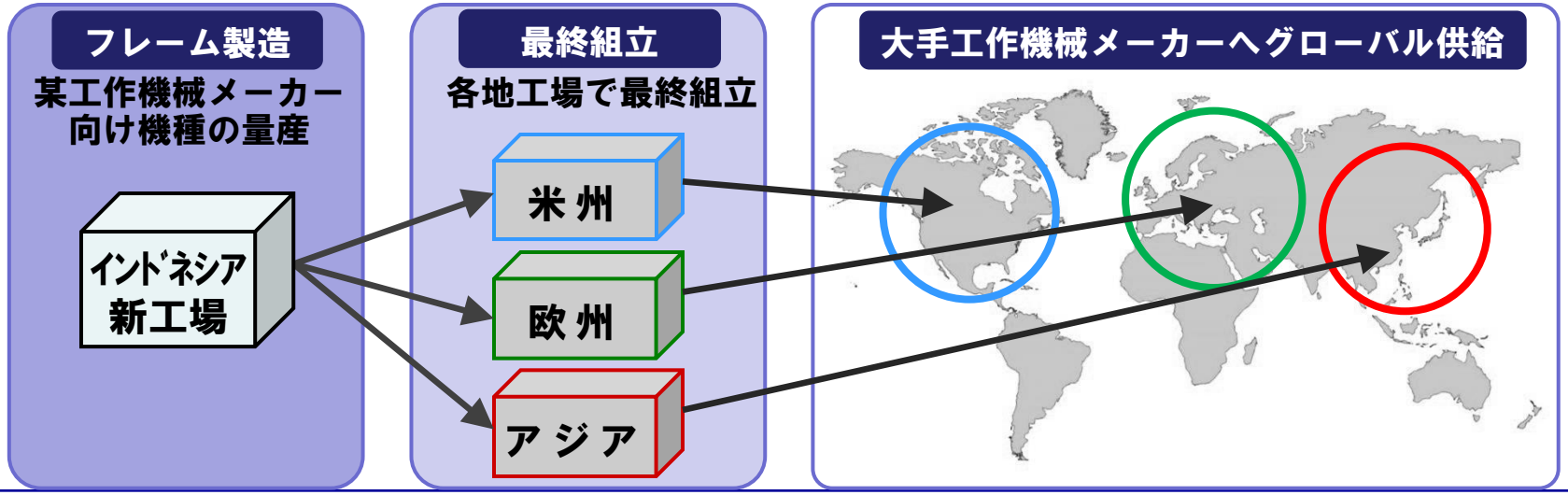
8. 今期の課題 <マテハン>

＜新商品、新市場＞

①汎用「ラボストッカ150」の開発と
　ライフサイエンスビジネスの海外展開準備
②流通ビジネスにおけるニッチトップ商品の開発
③FAビジネスにおける「新塗装搬送システム」の開発

＜グループ総合力の発揮＞

①メイフランのグローバル競争力強化
　インドネシア・マテハン新工場でのチップコンベヤ量産



2016年3月期 連結業績予想

1. 16年3月期 通期連結業績予想

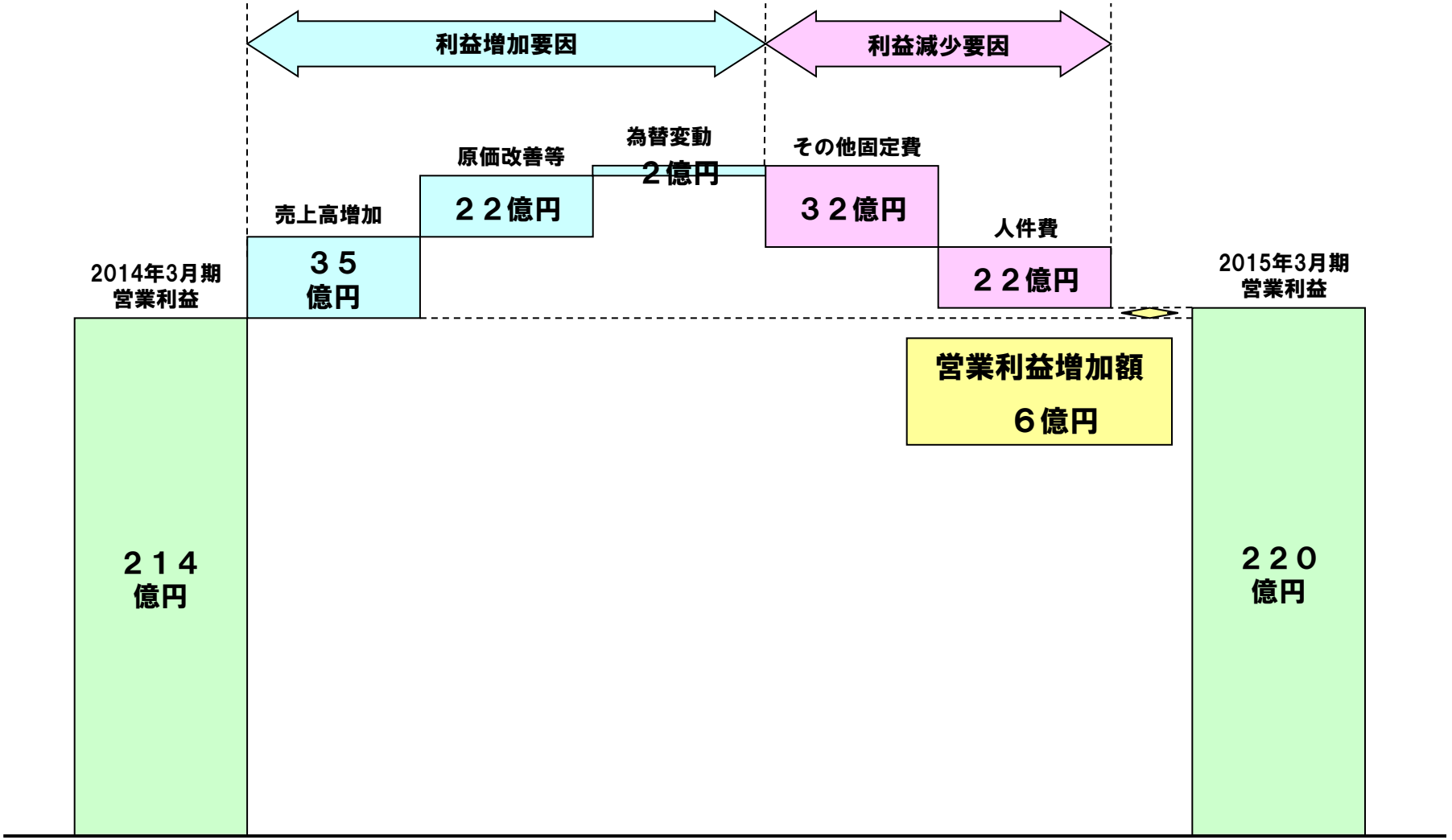
■ 国内、海外とも緩やかな景気回復の動きの中、
4.7%の増収、2.7%の営業増益と予想

（単位：百万円）

	2015年3月期	2016年3月期			前期比
	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
売　上　高	196,738	100,000	106,000	206,000	4.7%
営業利益	21,427	10,100	11,900	22,000	2.7%
営業利益率	10.9%	10.1%	11.2%	10.7%	
経常利益	22,263	10,400	12,000	22,400	0.6%
当期純利益	14,153	6,900	8,100	15,000	6.0%
1株当たり当期純利益	75.65円	－	－	80.17円	―
（為替レート 1US＄）	109.76円	－	－	115.00円	―
（為替レート 1EURO）	138.69円	－	－	125.00円	―

2. 16年3月期 連結営業利益増減要因分析

2015年3月期実績 vs 2016年3月期予想



3. 16年3月期 事業セグメント別業績予想

■ 大口案件の影響等でマテハンがやや減少も、概ね堅調な成長を見込む

（単位：百万円）

		2015年3月期	2016年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
チェーン	売上高※注1	61,721	31,800	32,400	64,200	4.0%
	営業利益	5,002	2,800	2,900	5,700	14.0%
	営業利益率	8.1%	8.8%	9.0%	8.9%	
精 機	売上高※注1	22,557	11,300	12,000	23,300	3.3%
	営業利益	2,400	1,100	1,300	2,400	0.0%
	営業利益率	10.6%	9.7%	10.8%	10.3%	
自動車部品	売上高※注1	66,978	35,300	38,200	73,500	9.7%
	営業利益	11,916	5,800	6,400	12,200	2.4%
	営業利益率	17.8%	16.4%	16.8%	16.6%	
マテハン	売上高※注1	45,169	21,400	23,200	44,600	▲1.3%
	営業利益	1,940	400	1,200	1,600	▲17.5%
	営業利益率	4.3%	1.9%	5.2%	3.6%	
その他※注2	売上高※注1	2,968	1,400	1,600	3,000	1.1%
	営業利益	123	0	0	0	▲100.0%
	営業利益率	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	

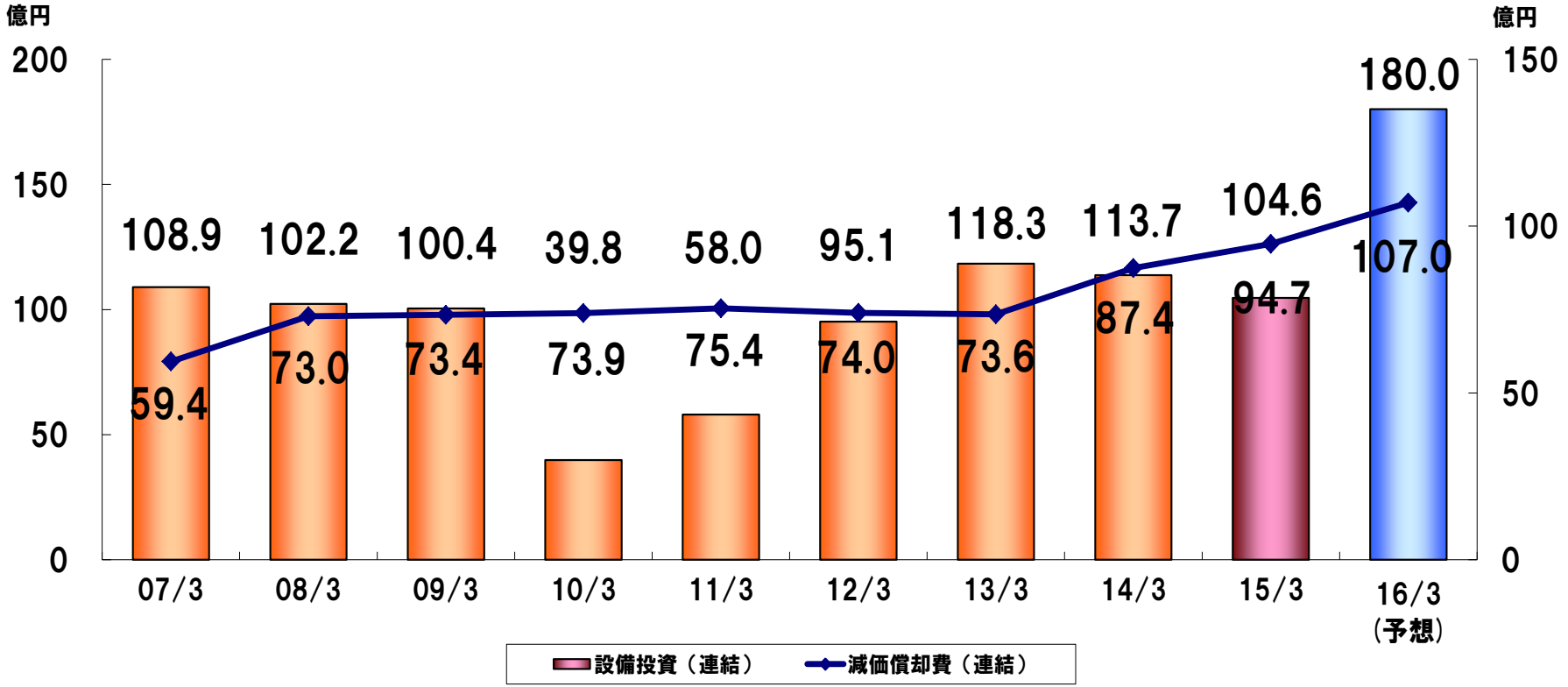
※注1 ： 売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。
※注2 ： 「その他」は、報告セグメントではありません。

4. 16年3月期 設備投資・減価償却費

■ 主な設備投資

① 自動車部品事業のグローバル生産体制強化（中国、米国ほか）
② チェーン事業の生産設備関連（京田辺工場ほか）

■ 設備投資と減価償却費の推移

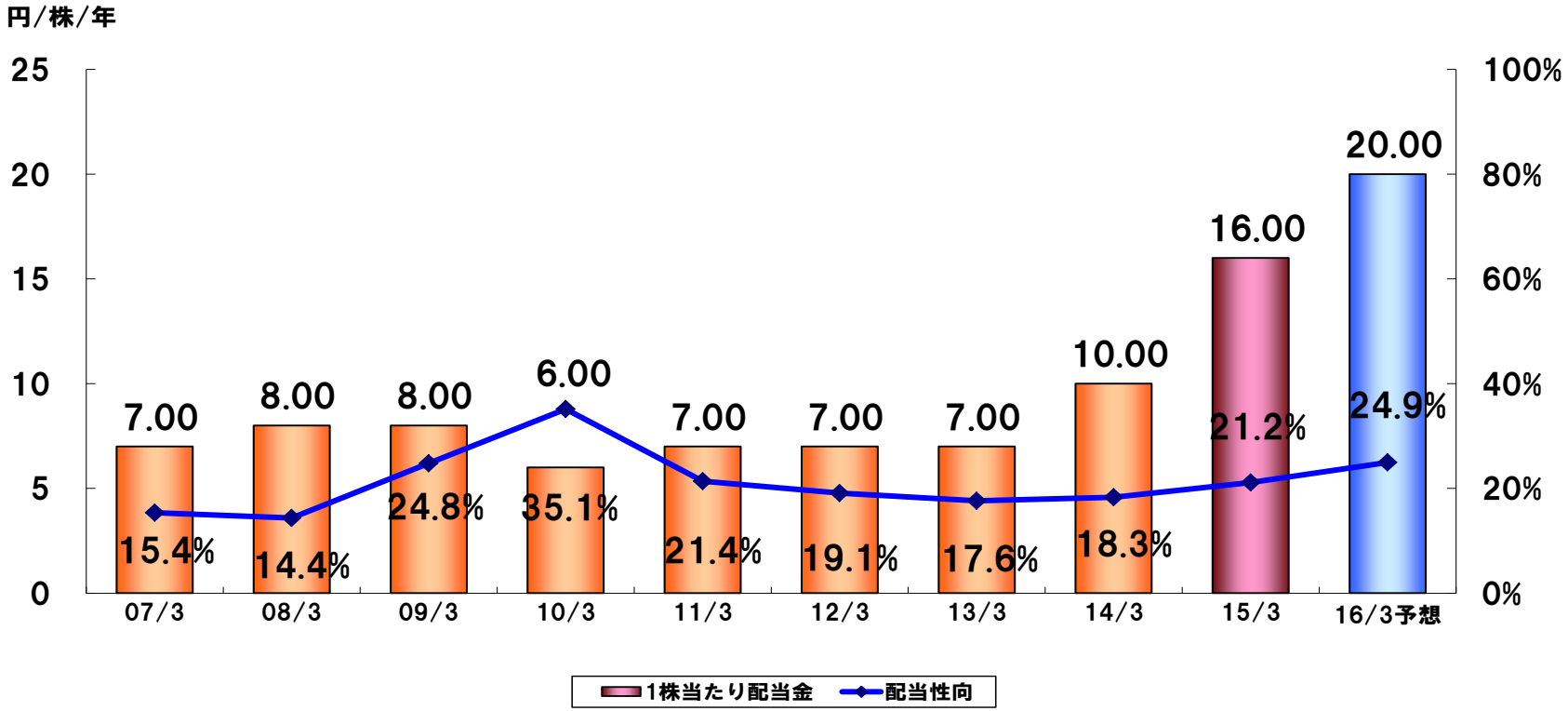


5. 配当金、連結配当性向

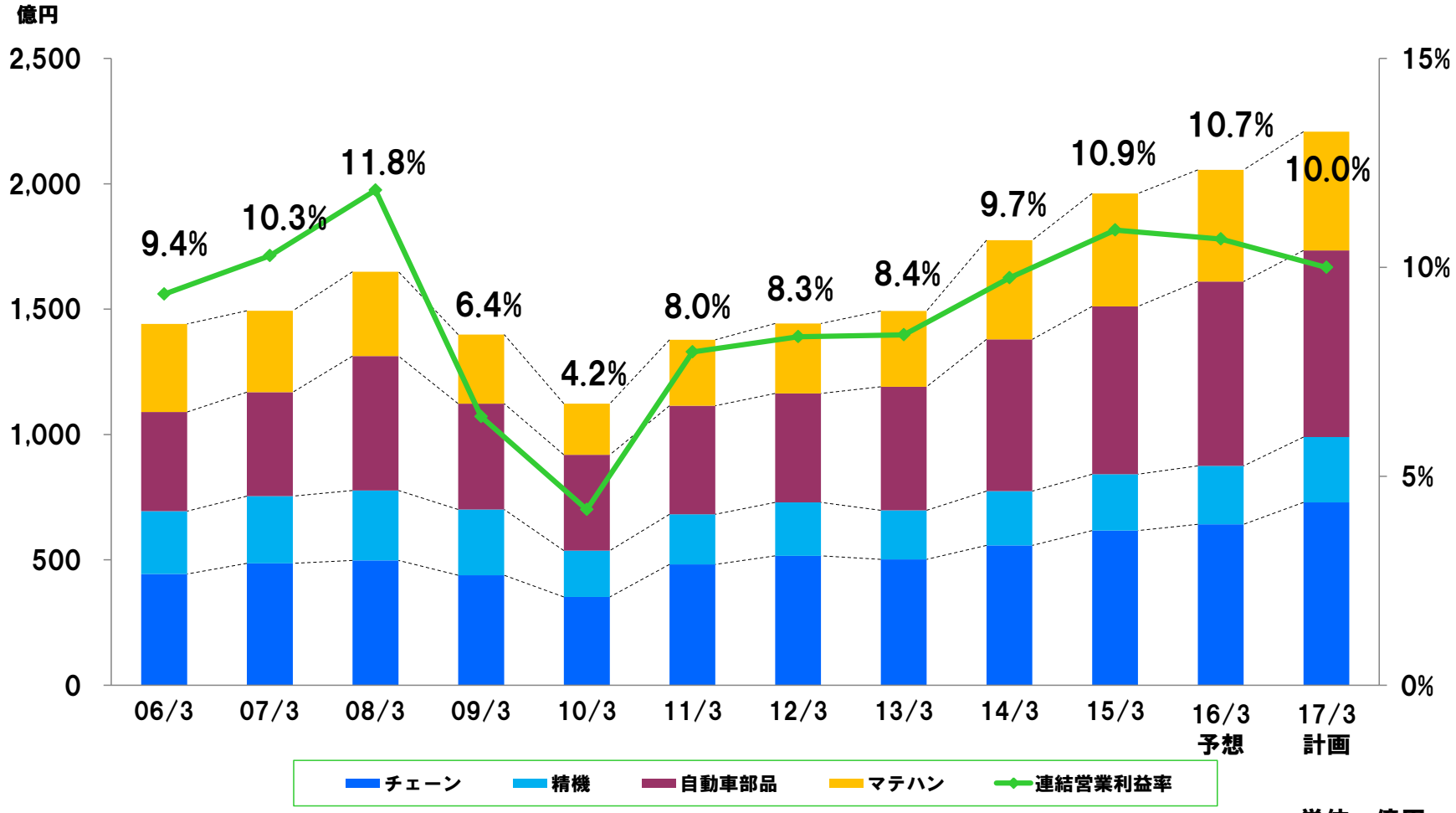
配当方針について

- 連結配当性向30%を目標とし、
  2017年3月期までの実現を目指す。

1株当たり配当金、連結配当性向の推移



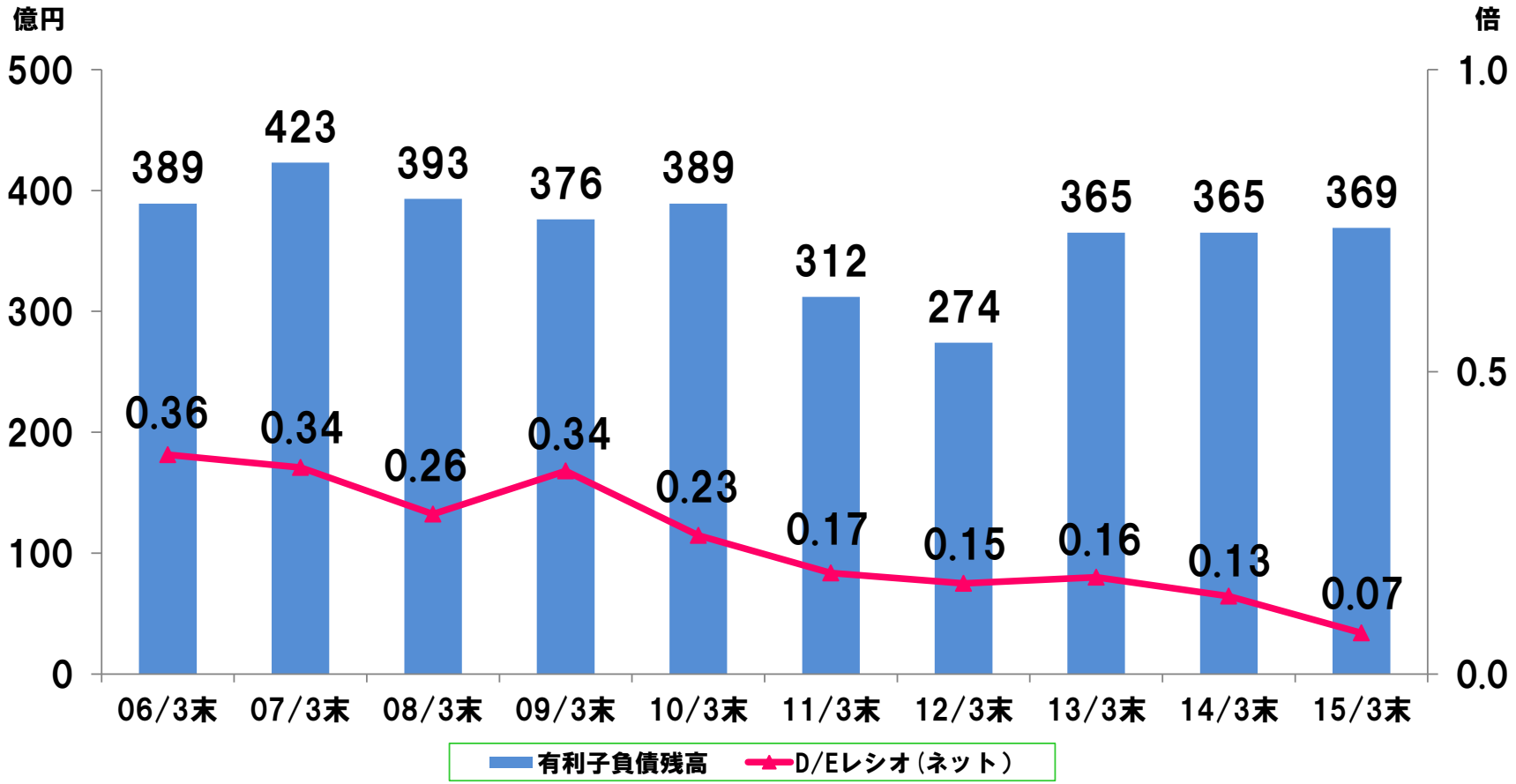
<ご参考> 連結売上高、営業利益率の推移



単位：億円

	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3予想	17/3計画
連結売上高	1,477	1,557	1,672	1,415	1,127	1,382	1,448	1,500	1,780	1,967	2,060	2,200
営業利益	138	160	198	90	47	110	120	125	173	214	220	220

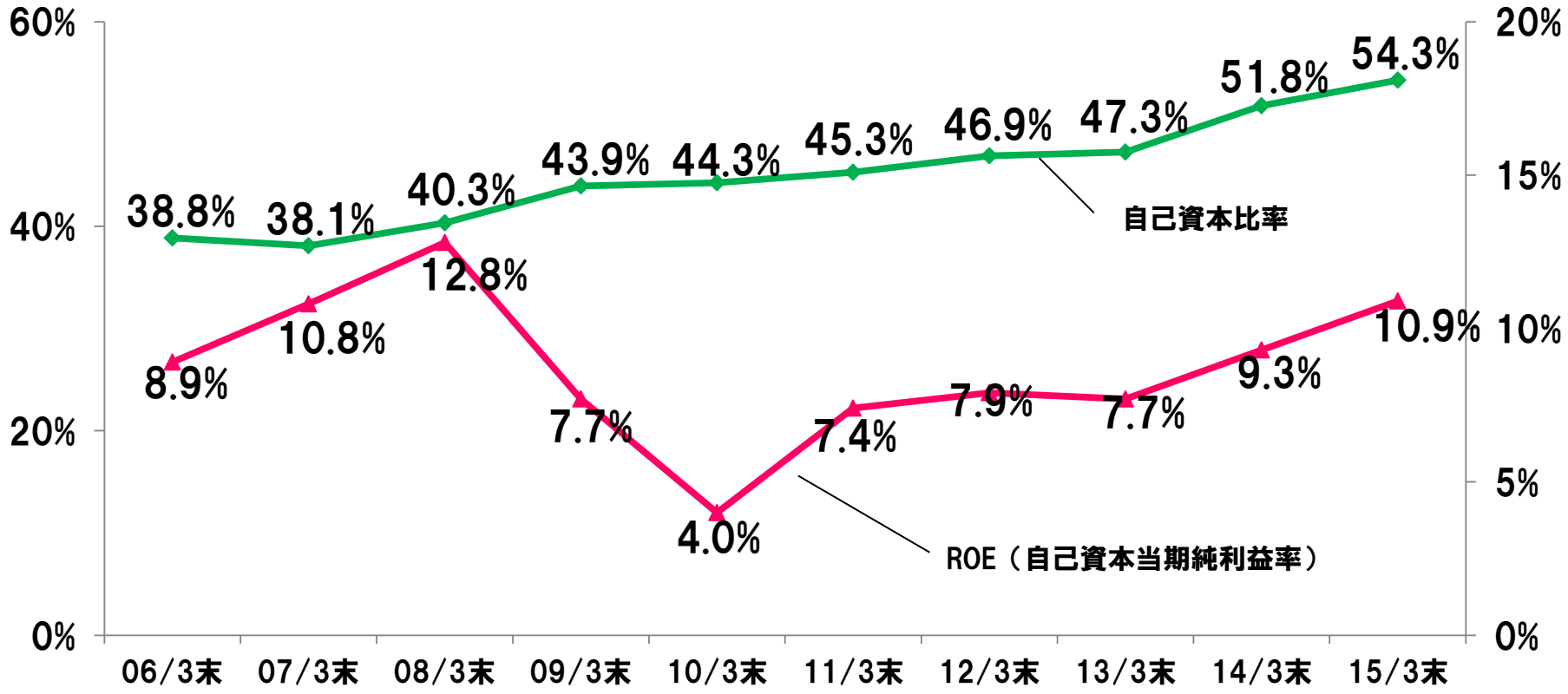
<ご参考> 有利子負債、ネットD/Eレシオの推移



単位：億円

	06/3末	07/3末	08/3末	09/3末	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末
有利子負債残高	389	423	393	376	389	312	274	365	365	369
D/Eレシオ（ネット）	0.36倍	0.34倍	0.26倍	0.34倍	0.23倍	0.17倍	0.15倍	0.16倍	0.13倍	0.07倍

<ご参考> 自己資本比率、ROEの推移



	06/3末	07/3末	08/3末	09/3末	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	14/3末	15/3末
自己資本比率	38.8%	38.1%	40.3%	43.9%	44.3%	45.3%	46.9%	47.3%	51.8%	54.3%
ROE	8.9%	10.8%	12.8%	7.7%	4.0%	7.4%	7.9%	7.7%	9.3%	10.9%

本資料に記載している事業計画および業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。